2019年 11月 8日 （ バス学習新聞 ） 第 1 号

バス学習新聞

啓西小学校
5年1組
竹中 結衣子

道新総合印刷所

新聞を印刷している道新総合印刷所の帯広工場に行きました。まきとり紙と言い、帯広工場まきとり紙は大きい物で一トンの重さがあります。輪転機という印刷する機械があり、時速三十五キロで印刷しています。輪転機は紙を重ねて印刷しているので、内側は印刷されていない状態です。その新聞がまちがって配達されないように、機械が反応する仕組みになっています。配達にも工夫があります。近い地域より二時間早く遠い地域に運びます。そうすると、ほぼ同じ時間に新聞がとどきます。

エルバ北海道

自動車解体をしています。現在、約50人働いているエルバ北海道に行きました。エルバ北海道は車の部品を取りはずしています。エルバ北海道が出来たのは、今から15年前で1日5台から10台の部品を集めていて、80から90個の部品が集まります。集めた部品を保管しています。計2万5千個を保管しています。なぜリサイクルをするかと言うと、資源をなるべく守り、二酸化炭素をなるべく出さないようにするためです。

チーム・ラボ in 帯広美術館

チーム・ラボは帯広に初上陸なので、たくさんの人が来ていました。天才ケンケンパというコーナーがあります。丸や三角や四角をふみながらゴールへ行くという物です。小人が住まうテーブルというコーナーでは、テーブルの中にたくさんの小人がいます。物を置くと、小人はそこを通れなくなってしまいます。他にもいろいろなコーナーがあります。映像がきれいで、とても楽しかったです。

編集後記

道新総合印刷所には、配達の時間などの、工夫があり、エルバ北海道にも、二酸化炭素をなるべく出さない工夫など、たくさんの工夫がありました。わたしは、新聞を読んだり、資源を大切にしたいと思いました。